



施設別事業計画

4

光明荘



運営方針

オール光明荘で取り組む支援の定着

- 「根拠ある個別ケアの定着」
ACP（人生会議）の継続と数値化されたデータの活用をもとに、施設特性や職員配置に拠らないケアを行い、一人ひとりの日常生活の満足度を高めます。
- 「地域コミュニティでの活動の定着」
和泉市や関係機関、自治会と連携を図りながら、年齢や障がいの有無に関わらず包括的な支援への仕組みづくりを行います。
- 「職員の働きやすさの定着」
ICTやテクノロジー化を目的に介護機器を導入し、誰もが活用できる体制を整備することで、職員の負担軽減と業務効率化を図ります。



重点項目

効率性の高い業務体制の構築とDX化の推進

- カメラや体動センサーなどの見守り支援機器の導入を促進しICTを活用した明確なケアにより、ご利用者の満足度向上と夜勤や感染対応を含めた職員の負担軽減の両立を実現します。併せて、体動・呼吸・心拍などのデータ計測を基に睡眠や生活リズムを把握することで、客観的かつ根拠に基づいたケアを実践し、介護ケア全体のスパイラルアップに繋がります。



質の高いサービス提供を実現するための取り組みの推進

- 在宅事業においてACPの取り組みを推進し、個々のニーズに即した具体的なプランを明示することで、利用者サービスの質の向上が図られるよう各関係機関に発信します。



LIFEの活用と実践

- 集積したLIFEデータをモニタリング時に活用し、過剰介助の見直しと本人の可能性を客観的に分析します。ケアの標準化を図ることで、根拠に基づいた自立支援へ繋がります。
- デイサービスにおいて、集積したデータと併せてご利用者の希望や自宅環境を踏まえたプログラムを立案し、定期的な動画撮影及び体力測定を行う事で、効果的な評価を行います。

働きやすい環境づくりに向けた取り組みの推進

- 来客・職員用トイレや通用口など、老朽化に伴う施設整備を適切に実施することで、誰もが清潔に感じ、働きやすい職場環境づくりに取り組みます。また、訪問系サービスの事務所出入口を整備することで、登録ヘルパーや外部からの訪問をスムーズに行い、より身近に感じてもらえるような事業所を目指します。

ステップアップ事業

多職種連携によるケアの充実

- ご利用者の口腔機能の維持・向上を目的としたプロジェクトチームを立ち上げ、歯科医師等の協力のもと、正しい口腔ケアを実践します。
併せて、口腔衛生や嚥下機能のアセスメントとその評価方法についても見直し、「口腔ケアマニュアル」を作成することで、ご利用者の健康増進に繋げ、入院者数の減少を目指します。



達成目標

- 手順書の作成・周知を行い、令和5年度の誤嚥性肺炎による入院者の割合を5割から3割以下に減少させます。
- 多職種連携のもと、ノーリフトケアをさらに発展させることでケア全体の相乗効果を高め、安全・安楽なケアを推進し、ご利用者の満足度向上と職員の負担軽減に繋がります。
- ノーリフトケアの対象者の拡充と新たな機器を導入します。併せて、評価検証の仕組みづくりを行います。



地域公益事業

地域の“頼れるパートナー”を目指して



- 和泉市の「子どもの居場所支援臨時特例事業」の参入を見据え、ヤングケアラーを含め多様な課題を抱えるこどもたちが地域で安心して過ごせる居場所づくりに取り組みます。



- こどもの居場所には専門職の専任配置を行うとともに、和泉市との関係機関や他法人と連携し、学生等ボランティアの確保をスムーズに行い、こどもたちへの学習支援や遊び、食事の支援等を行います。

取組効果

毎週の開催を通して地域における“こどもの居場所”としての認知と定着を目指します。



実施事業一覧

- 特別養護老人ホーム光明荘(定員120名)
- 短期入所生活介護(定員20名)
- 光明荘デイサービスセンター(定員35名)
- 光明荘ヘルパーステーション
- 光明荘居宅介護支援事業所
- 光明荘訪問入浴サービス
- 光明荘訪問看護ステーション
- 特別養護老人ホーム光明荘診療所
- 福祉有償運送
- (和泉市委託事業)
- 光明荘地域包括支援センター
- 光明荘認知症機能強化型地域包括支援センター
- 光明荘いきいきネット相談支援センター